

|| 企業調査レポート ||

## ノムラシシステムコーポレーション

3940 東証 JASDAQ

[企業情報はこちら >>>](#)

2017年3月21日(火)

執筆：フィスコアナリスト

清水さくら

FISCO Ltd. Analyst **Sakura Shimizu**



FISCO Ltd.

<http://www.fisco.co.jp>

## ■ 会社概要

### ERP ソリューション事業を主に手掛けている IT コンサルティング会社

ノムラシステムコーポレーション <3940> は、ドイツの SAP SE 提供の製品を活用したコンサルティング及び保守サービス等を展開している IT コンサルティング会社。事業内容は、SAP 導入コンサルティング業務、SAP 保守サポートセンター運營業務、Web システム開発コンサルティング業務、情報サイトコンサルティング業務の 4 つ。同社は、経営理念として「社員の物心両面の幸福を追求」と「社会の進歩発展に貢献」を掲げている。2016 年 9 月に東証 JASDAQ に上場した。

## ■ 事業概要と強み

### 1. ERP ソリューション事業

#### (1) Function Implement Service (FIS)

Function Implement Service (FIS) とは、プライムベンダー（元請け企業）であるパートナー企業を通じて、顧客要件分析及び実現機能の設計、または標準機能ではカバーできない既存業務に対して新機能の作り込み（アドオン）など個々の課題に応じたコンサルティングサービスを提供している。

#### (2) プライム

エンドユーザーと直接取引で、顧客企業が抱える課題の抽出・分析を行い、最適化した業務プロセスをもとにシステム構築を行う。主に、SAP 社製品を活用した経営課題解決の提案、提案を実現させるシステム構築から運用までワンストップでサービスを提供しており、利益率は FIS よりプライムの方が高い。

### 2. 強み

同社は、自社の強みを豊富な業務・業界知識及び技術力に裏打ちされた高いコンサルティング力、プロジェクト管理力、オリジナルテンプレートと分析している。また、同社のファンクションコンサルタントが「べき論」ではなく実現性・付加価値の高い優れた提案を可能とするのは、提案を実現するために活用するシステムの仕組みを理解しているためという。この背景には、システム構築を通じ課題解決の実現を担当するインプリメントコンサルタントから、経営課題の本質に対して業務とシステムの両面から何を、どのように解決すべきかを提案するファンクションコンサルタントへ人材を育成する独自の方針があると考えられる。この方針こそが同社の強みの源泉のようだ。また、同社は最新の技術の習得のため積極的に SAP 認定コンサルタント資格の取得を推進している。SAP 認定コンサルタント資格保有者は、2017 年 1 月 27 日時点で述べ 139 名（2016 年 12 月 31 日時点の従業員数は 99 名）になっている。

## 業績動向

### 売上・利益ともに過去最高を更新

#### 1. 2016 年 12 月期決算

2016 年 12 月期の連結業績は、売上高が前期比 7.7% 増の 2,441 百万円、営業利益が同 23.4% 増の 312 百万円、経常利益が同 19.8% 増の 312 百万円、当期純利益が同 19.5% 増の 194 百万円となった。プライムで既存取引先からの継続案件受注が大きく増収に寄与、経常利益では売上高に占めるプライムの割合が当初計画の 15% から 19.1% まで上昇し、大幅増益を達成した。経常利益率は、前期の 11.5% から 1.3 ポイントさらに上昇し 12.8% となった。

#### 簡易損益計算書

(単位：百万円)

	14/12 期	15/12 期	16/12 期	17/12 期 (予)
売上高	2,095	2,267	2,441	2,501
前期比	15.3%	8.2%	7.7%	2.4%
営業利益	215	253	312	337
前期比	120.6%	17.5%	23.4%	7.7%
経常利益	226	260	311	335
前期比	120.6%	15.0%	19.8%	7.4%
当期純利益	141	162	194	204
前期比	205.5%	15.0%	19.5%	4.9%

出所：有価証券届出書及び決算短信よりフィスコ作成

2016 年 12 月末時点の資産合計は前期末比 608 百万円増の 2,277 百万円となった。増額要因は、現金・預金が増額要因となったのが主因。負債は 343 百万円で、流動負債の買掛金が前期末比 14 百万円、未払い法人税等が同 13 百万円増加したことによる。純資産は利益の積み上がりにより前期末比 574 百万円増の 1,934 百万円となった。この結果、自己資本比率は前期から 3.5 ポイント上昇し 84.9% となり、情報処理サービス業平均の 51.5% 及び全上場企業平均と言われる 3 割を大きく上回る水準となっている。

## 業績動向

## 簡易貸借対照表

(単位:百万円)

	14/12期	15/12期	16/12期
流動資産	1,143	1,623	2,228
現預金・現金同等物	855	1,264	1,828
仕掛品	12	6	7
固定資産	345	45	48
有形固定資産	11	7	12
総資産計	1,489	1,669	2,277
流動負債	295	306	339
短期性借入金	-	-	-
固定負債	3	3	3
長期性借入金	-	-	-
負債計	299	309	343
純資産計	1,190	1,359	1,934

出所:有価証券届出書及び決算短信よりフィスコ作成

キャッシュフローでは、営業キャッシュフローが前期比 98 百万円増の 198 百万円で、売上増による税前利益及び仕入債務の増が主要因。投資キャッシュフローは、有形固定資産の取得による支出があり、10 百万円の支出となった。財務キャッシュフローは株式発行による収入に伴い 376 百万円の収入となり、現金及び現金同等物の期末残高は 1,829 百万円となった。

## 簡易キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	14/12期	15/12期	16/12期
営業活動によるキャッシュ・フロー (a)	211	99	197
投資活動によるキャッシュ・フロー (b)	-299	329	-9
財務活動によるキャッシュ・フロー	0	0	376
フリー・キャッシュ・フロー (a) + (b)	-87	428	188
現金および現金同等物の期末残高	835	1,264	1,828

出所:有価証券届出書及び決算短信よりフィスコ作成

## 大型受注案件の貢献を見込む

### 2. 2017年12月期会社予想

2017年12月期の業績予想は、売上高が前期比 2.4% 増の 2,501 百万円、営業利益が同 7.7% 増の 337 百万円、経常利益が同 7.4% 増の 335 百万円、当期純利益が同 4.9% 増の 204 百万円で、経常利益率は前期から 0.6 ポイント改善の 13.4%、プライムの売上高に占める割合は前期比 7.9 ポイント上昇の 27.0% を見込んでいる。売上高に占めるプライム構成比率の上昇が売上高成長率以上に経常利益率の改善につながるものと考えられる。同社は約 2 億円弱の大型プライム案件を獲得しており、2017年12月期業績に寄与すると思われる。しかしながら、現在の会社予想はこれを完全に織り込んでいるとは言えない水準であること、また特段収益悪化要因がないと説明していることから保守的に策定したようだ。

## ■ 中長期の成長戦略

### 既存事業の強化とサービス領域の拡大で大きく成長へ

- 長期ターゲットは経常利益率 15.0% 以上、プライム比率 34.0% 以上

同社は重要経営指標として経常利益率を掲げており、2017 年 12 月期には 13.4% を見込み、長期的には 15.0% 以上を狙っている。このプライム比率の拡大には、既存 ERP 事業の強化のほか、リアルタイムビジネスの実現に向け、クラウドを利用した短期・低コストのソリューションと将来予測までを可能とするビッグデータ分析を活用したソリューション提供に注力することとしている。注力分野において高付加価値のコンサルティングを提供していくための足場固めとして引き続きコンサルタントの育成を重要視しているようだ。特にコンサルタントの育成として、2017 年 12 月期内に SAP 認定コンサルタント延べ 50 名増を計画している。

## ■ 株主還元策

### 配当性向 40% 以上の安定配当を継続に行う

- 2017 年 12 月期配当予想額は未定

2016 年 12 月期の 1 株当たり配当額は、普通配当 51.0 円、記念配当 51.0 円の合計 102.0 円。同社は、2017 年 12 月期の配当予想額を未定としているが、配当性向 40% 以上の安定配当を継続的に行うことを基本方針として掲げていることから、最終利益に応じて配当を支払うと思われる。

#### 重要事項（ディスクレマー）

株式会社フィスコ（以下「フィスコ」という）は株価情報および指数情報の利用について東京証券取引所・大阪取引所・日本経済新聞社の承諾のもと提供しています。“JASDAQ INDEX”の指数値及び商標は、株式会社東京証券取引所の知的財産であり一切の権利は同社に帰属します。

本レポートはフィスコが信頼できると判断した情報をもとにフィスコが作成・表示したものです。その内容及び情報の正確性、完全性、適時性や、本レポートに記載された企業の発行する有価証券の価値を保証または承認するものではありません。本レポートは目的のいかんを問わず、投資者の判断と責任において使用されるようお願い致します。本レポートを使用した結果について、フィスコはいかなる責任を負うものではありません。また、本レポートは、あくまで情報提供を目的としたものであり、投資その他の行動を勧誘するものではありません。

本レポートは、対象となる企業の依頼に基づき、企業との電話取材等を通じて当該企業より情報提供を受けていますが、本レポートに含まれる仮説や結論その他全ての内容はフィスコの分析によるものです。本レポートに記載された内容は、資料作成時点におけるものであり、予告なく変更する場合があります。

本文およびデータ等の著作権を含む知的所有権はフィスコに帰属し、事前にフィスコへの書面による承諾を得ることなく本資料およびその複製物に修正・加工することは堅く禁じられています。また、本資料およびその複製物を送信、複製および配布・譲渡することは堅く禁じられています。

投資対象および銘柄の選択、売買価格などの投資にかかる最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。

以上の点をご了承の上、ご利用ください。

株式会社フィスコ